シャーン・インクィジティブ

謎めいたモノリスがリードラで建造中

ニュース・フォー・サル：セレンドール，０１，９９８ＹＫ

デイヴィット・ヌーナン著

シャーン発：ゾルにモルグレーヴ大学の人類学者ガスラ・マラネックは、サーロナの荒野の奥地で工事中の、高さ１，０００フィートにも及ぶ卵形の建造物が描かれている絵を提示しました。

マラネックは、モノリスの目的は未だに不明確であるものの、インスパイアードによってもたらされる「サイオニクス」のエネルギーが、この建造物の周囲の地域では大幅に変動しているように思えると、講堂に詰めかけた聴衆に向かって話しました。「ここでわれわれがこの建造物の目的について議論しても、それは憶測の領域に過ぎません。」マラネックは話しました。「しかし、エネルギーからすると、私はこれらのモノリスはある種のサイオニクス・エネルギーの充電器か増幅器だとしか思えません。」

マラネックは２時間に及ぶ講演中、モノリスに関する描写は約１年前に彼が、密かにリードラ帝国を訪問して観察した結果だと強調し続けました。この人類学者はモノリスの谷に侵入した直後に、インスパイアードの警備兵によって拘留されたのでした。

マラネックは、彼の講義を意外な発言で締めくくりました。「わたしが観察した幾つかの詳しい状況から、これらは準生物学的な移動方法を持っているかもしれません。」彼は、そう述べました。「従って、モノリスはすでに谷には存在しないかもしれません。」

マラネックがシャーンへと帰国できたのは、ほぼ４ヶ月に及ぶブレランドとインスパイアードの大使の交渉の結果でした。人類学者は、インスパイアードは彼が拘留されている間も大切にもてなされ、研究のためにインスパイアードの図書を読むことも許されたと話しました。

アダールの亡命政府の副知事であるタハッド・ヴルレアスは、リードラ帝国に石の構造物の目的を公表して中立のオブザーバーがモノリスの谷を訪問し、そこでの出来事を監視できるようにと呼びかけました。「サルローナに残っている少数民族のカラシュターに対するリードラの弾圧的な政策を考えると、我々はこれらのモノリスがどんな新しい恐怖を意味するのか、疑問に思わざるを得ません。」

シャーンにいるリードラ帝国の大使からは、印刷開始時刻までに、この件に関してコメントを得ることはできませんでした。

著者について

デイヴィット・ヌーナンは、ウィザード・オヴ・ザ・コーストのデザイナー兼デヴェロッパーです。ウィザード・オヴ・ザ・コーストに入社する前、彼はワシントン州の日刊新聞のリポターとして働いていました。彼が市当局を打ち負かす訓練をしたことは、***『エベロン・キャンペーン・セッティング』***にとっては、明らかに良いことでした。

©1995-2005 Wizards of the Coast, Inc., a subsidiary of Hasbro, Inc. All Rights Reserved.
ウィザード・オヴ・コースト社の所在地：Renton, Washington, PO Box 707, Renton, WA 98057.

オリジナルのダンジョンズ・アンド・ドラゴンズのゲームは、Ｅ・ゲイリー・ガイギャックス、デーヴ・アーネソンによってデザインされました。その後、オリジナルを基にしたダンジョンズ・アンド・ドラゴンズの新版は、ジョナサン・トゥート、モンテ・クック、スキップ・ウィリアムス、リチャード・ベイカー、ピーター・アドキソンによってデザインされました。Ｄ＆Ｄ、ダンジョンズ＆ドラゴンズ、フォーゴットン・レルムは、ウィザード・オヴ・コースト社の登録商標です。ウィザード社のすべてのキャラクター、キャラクターの名前、肖像画は、ウィザード・オヴ・コースト社の登録商標です。この資料は、アメリカ合衆国の法律によって保護されています。ウィザード・オヴ・コースト社の許諾書なしでの本資料の製品化や、ここに含まれている資料や図画を無断で使用することは禁止されています。この製品はフィクションです。実在する人物、組織、場所、または出来事と類似していることがあっても、それは純粋な偶然にすぎません。このウィザード・オヴ・コーストのゲームにはオープン･ゲームの内容は含まれません。この資料のどの部分も許諾書なしで、どのような形であれ編集してはなりません。オープン･ゲーム・ライセンスとＤ２０システムに関するさらに詳細な情報を得るためには、わたしたちのＷｅｂサイト、www.wizards.com/d20 を訪れてください。
(C)2001-2005 Wizards of the Coast, Inc. All rights reserved.

わたしたちのＷｅｂサイト、www.wizards.com/dnd を訪れてください。